

学 園 通 信



No. 234

九里学園高等学校 P T A

2008.3.1 発行

卒業おめでとう



卒業特集

未来という限りない大空へ羽ばたく瞬間^{と き}

卒業生諸君へ

学園長 九里 茂 三

情報化社会と呼ばれる昨今である。その発信地がいわゆる中央に傾斜し、而も経済上の理由で企業の立場に立つテレビの発想や態度の「えげつ無さ」がやたら気になる昨今である。一億総白痴化と気にした先達の言葉が現実のものとなりつつあるように思われるからだ。日本中の若者が、こんなだらけた風潮に無関心か、あるいは迎合してあやしまないとすれば、日本の将来が心配でならない。米沢の而も本学園の卒業生たちには、是非憤る反骨の気概を持ってほしいと願わざるを得ない。

明治三十四年（一九〇一）に本学園を創立した校祖九里とみ先生は、当時、次々と設立された公立学校の、特に女子教育が、中央からのお仕着せで、ハイカラさんの教育であった事に対して、当地方の女子に求められているのは、この北国の家庭を支える生活教育と、

生計を支える実学でなければならぬとし、方法としては観念の学ではなく、反復練習して身につける活きた力の養成を目指すとの固い信念に裏打ちされたものであった。この地に立ち、自らの思想にその生を賭けた営みであり、正に反骨の精神によるものと言うべきであろう。中央のおすそ分けや迎合することのない生きざまに学ぶべきである。

「東北よ、中央の下請けに甘んじているようでは口惜しいではないか。北欧三国に学べ。東北らしい産業と文化を創れ」と我々を叱つたのは、今や世界のパナソニックを立ち上げた松下幸之助氏だった。仙台での講演での力強い忠告であった。東北に限らず、日本の辺地は、いつも中央集権の政治や大企業中心の経済活動の犠牲となつて振り回されつづけて来た事を思い知るべきなのである。

北欧は典型的な福祉国家で、貧富の差が少なく、平均した生活程度の中で、その連帯を確認しているようだ。お互いが労苦して生きる生活から得た「人間同志の思いやりと連帯」から生まれた社会制度で、実は我々の祖たちにもその倫理があった。貧しい者同志の中に生まれた損得を越えた「人間愛の倫理」である。いつの頃から今のような奪い合いや過度の競争、そしてふがいない文化に落ち込んだのであろうか。

豊かさ、そして美しさは人間としての誇りに裏打ちされて本物となる。「礼」と「譲」が示すものこそ本当の生きざまであることを、これからの人生に模索してほしいと心から念じてやまない私である。

素敵な国・社会作りに若者の声を

学校長 九里 廣志

最近「子ども」の定義に「前期子ども（おおむね思春期前後まで）」と、「後期子ども（十五歳前後から三十歳前後まで）」という分類があることを知りました。もともと長くなってきた人生の中で、「高齡期」と「子ども」（＝共に「生産」や「生殖」と無関係な時期を持つ）の時期が現代で大きく伸びていることが、このような新しい分類を必要としてきている原因のようです。特に、最近のいつまでも自立できず、無責任でわがままな「若者」たちのようすを見ていると、三十歳でもこのような「子ども」の中に入れてちよいどいいと思いたくなるのは多くの人の偽らざる気持ちでしょう。

『日本国憲法の改正手続きに関する法律』が昨年の五月に成立し、二〇一〇年五月十八日から施行されることになりました。このことをきっかけに、成人年齢について

の議論が各所で行なわれています。第三条で「日本国民で年齢十八年以上の者は、国民投票の投票権を有する」と定めたため、他の法律でもこの「十八歳」を成人とするかどうかを議論しているのです。先に述べたことをベースにしてしまえば、まだしつかりした生活力や判断力も持ち合わせていない「後期子ども」には選挙権はもとより、いろんな意味での大人としての権利など与えるべきではないとの意見が出てきそうです。三十歳でも子供としてしか扱わないと言う意見です。しかしこれでは、これからの若者たちはいつまでも大人になるチャンスを与えられず、歳をとつてもまだまだ元氣な、しかしこれからの世界に責任の無い高齡者たちの言いなりになってしまわなければならないということなのです。それに唯々諾々と従うと言うのなら話は別ですが、そ

うでないなら、逆に若いうちに色々な体験や責任を与え、自分達の意見を政治の場で積極的に述べなければならぬ状況を作ることが、『子供を大人にする』極めて教育的な方策であると言えるでしょう。来年からは「裁判員制度」も始まります。一人ひとりが責任ある判断と行動を要求されているのです。私たち大人は、この若者たちが正しく判断し行動できるための、知識や知恵を、相手としっかりと問題点を確認し合えるコミュニケーション能力を、身につけさせてあげる責任があると思っています。ちよど今年度の三年生が二十歳になるときに、一・二年生も一緒に意思の表明ができるというわけです。新しい、素敵な国や社会が、若者たちの意見を生かして作られていくことを期待したいものです。

卒業おめでとう

～ 幸多き未来を願って～

人生に備えよ

第三学年主任 上村 英俊



卒業おめでとう！
～ ざいます。

人が生きていく中で、何度か大切な節目が訪れます。人生の方向が変わったり、決まったりする大きな出来事のことですが、高等学校の卒業は年齢とほぼ並行に訪れる節目としては最後のものかもしれません。

これからも、人生に転機が節目と共に訪れます。でも、これからは、その訪れは人によってまちまちです。いつ、何を行うか予定できないことも多くなります。

だから、本当に大切な、その時のために備えましょう。大切なその時に、自分の「行動オプション」が多ければ、それだけ可能性も多くなります。まだまだ若い皆さんです。若い時こそ、自分の未来に投資しましょう。

「人間は行動することにより、未来へと自分を投げかけることができる」(ハイデッガー)

卒業してからの一歩一歩が、あ

なたにとって幸多い未来につながっていくことを期待します。



感動ある幸せな人生を！

副主任 高橋 元樹

高校卒業は人生の中で大きな節目です。これから君たちの人生には楽しいことや嬉しいこと、悲しいことや苦しいこと様々なことがあると思います。命ある限り、その一つひとつを軽く受け流さず、じっくりと噛み締めるように何事にも精一杯に感動をもって生きていって下さい。「死」から「生きる」ことを考えなおしてみると、身近なところに素直にありがたみを感じる事ができるでしょう。月周回衛星「かぐや」から送られてきた月から見た地球の面に君は何を感じましたか？宇宙船地球号の乗組員の仲間として地球に生きる全ての命の種の存続を意識して、広い視野で真実を見極める賢い頭と、愛を育む温かい心を大切にして、幸せな人生を送ってください！

卒業おめでとう

熊澤 広二



三年生の皆さん、御卒業おめでとう！
ざいます。皆さんは高校生活を終えて、進学、就職と新しい道を歩み始めます。卒業の余韻に浸って過去を懐かしんでいる余裕はありません。新たな進路で活躍できる準備に取り掛かってください。社会は激動し、また混沌としており、生きていく上での精神的な支柱を見失いがちになる時があります。そんな時、九里で学んだ「礼と讓」を思い出してください。皆さんの未来に幸多いことを祈念します。

出会いを大切に

原田 隆弘



卒業おめでとう！九里で過ごした三年間はどうか？きつと忘れられない三年間だったと思います。友達に出会い、先生に出会い、この出会いを一生大切にしてください。「成長の一歩は人との出会いから始まる」人はいろんな人と関わりを持ち、成長できると思います。新しいステージへ進む君達は、視野を広げいろいろなジャンルの人と関わってみてください。それはチャンスなんです。チャンスを掴むか、それとも逃すのか。それは自分次第。頑張れ！

1組

誰からも好かれる
人間になろう

担任 高橋左和明



三年生の皆さん、卒業おめでとう。私から一言エ

ールを送ります。それは「誰からも好かれる人間になろう」ということです。相手の欠点だけが見えている間は、自分は人に好かれる資格はないと思っしてほしいです。どんなことがあっても人を責めず、問題点やトラブルに対する自分の責任・役割を見つけれられる人になっしてほしいのです。



三年間の思い出

八巻 智也



私はこの三年間で多くの事を学びました。学校生活では社

会人になるために必要な知識や集団行動を学び、自分の意見を大切にしつつ相手の意見を尊重することを学びました。

部活動では仲間の支えにより、パトリーダー等指導的な役割を果たすことが出来ました。

また顧問の先生や先輩方の熱心な指導は「人の想い」を肌で感じ、自分を成長させてくれました。

卒業・九里で過ごした三年間

藤田 昂史



卒業を目の前にして九里での思い出と言うと一番最初に思い浮かぶのが陸上競

技です。練習がきつくと、選手として力がなかった私は練習が嫌になる事がありました。そんな私でも練習をがんばられたのは顧問の先生のご指導や仲間の支えがあったからです。

私は陸上競技を通して学んだ仲間の大切さ、精一杯努力するすばらしさを心の中に持ち、社会人になっても生活していきたいです。

2組

若い日は・・・

担任 富樫 宏之



若い日は 皆何かを目指せ 秘めた力 自分

じゃ分らない

夢を大きく持て とびきりかく

答えより もっと大事なことは 勇

気を出して 自分を試すこと

君は何かができる 誰もが出来る熱

い想い 燃やせばそれでいい

心も体も爽やかだ ほくらは

若い日は 皆 進んでいける それ

が青春なんだ

泣ける日もある そんな時には 風

の中に 涙は吹き飛ばせ

君は何かをやった 皆何かをやった

私の高校三年間

高木 晃太



私は高校三年間で勉強、部活、人との交流などの面でさまざまなことを学びました。九里学園に入ったときは初めてのことはありましたが、一ヶ月くらい経つとクラスのみならずとも仲良くなり、部活にも入ったので緊張というものがなくなり楽しく学校生活を過ごしていました。そんな生活も

あつという間で、進路が決まりもう卒業です。まだあまり実感が持てませんが、春からは今まで九里学園で学んだことが生かせるようにがんばりたいです。三年間過ごした高校生生活はとても充実していて、一生忘れることのない日々です。

バドミントンでの活動

本田 成樹



私は、三年間バドミントン部で一生懸命がんばりました。一年生の時は病気がちだったので、練習についていくのが精一杯でした。二年生の時は、先輩達が引退した後、二年が私しかいなかったのが大変だったので一年生を引っぱっていきのが大変でした。新人戦では、ダブルスで県大会に行く事が出来ました。三年生では、最後の大会だったので、悔いを残さないようにがんばりました。



3組

心から感謝

担任 我妻 孝



御卒業おめでとう。この三年間という期間の中で楽しかった事、

苦しかった事など様々な事を体験したことでしよう。学校という集団での活動がこれで最後の人も、また新しく始まる人も人と人とのつながりを大切にして下さい。これまでに世話になった両親に心から感謝して下さい。そしてその感謝の心を忘れて下さい。これから長い人生を送るわけですが、失敗を恐れないで自分の夢がかなうように頑張ってください。



部活動

井上 清隆



私は、この九里学園での三年間の大半は野球部での活動に全力をそそいできました。

練習は毎日夜遅くまで続き、辛い日々でしたが、仲間と一緒に乗り越えてきました。試合などで結果がだせず落ち込んだ日やケガで悩んだ日もありました。そういういろんな経験をしてきたので、今の私がいるのだと思います。
この九里学園での三年間は、私にとって、とても充実し、満足できた三年間でした。



三年間の部活動

加藤 宏幸



九里での三年間は、勉強や行事を頑張ったと思います。中でも、一番頑張ったと思うのは部活動でした。

部活動は陸上競技部に所属してました。そこでは、休みが少なく毎日が厳しい練習でした。現役の時はいたいと思いましたが、部活を止めても何も残らないし、後悔すると思つたので、一生懸命張りつめました。今では、止めないで本当に良かったと思います。

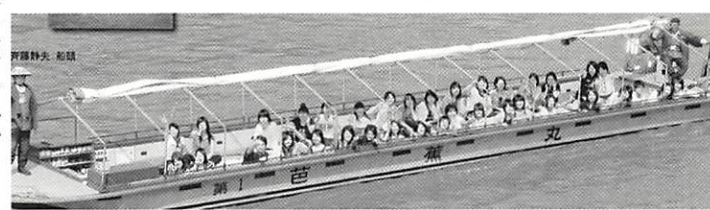
4組

「世界に一つだけの花」を美しく咲かせて下さい

担任 豊嶋 達也



御卒業おめでとう
ございます。四月六日、四組三十六名の名簿が昇降口に貼られた日、教室に期待と希望に満ちた新鮮な空気が流れていました。卒業を迎えた今、この一年間を振り返ると、四組のメンバーが織りなす一つひとつの光景が宝石のような輝きを放ちながら思い出されます。庄内旅行、九里祭、体育祭。本心に仲の良い、明るいクラスでした。そんな四組の担任をさせて頂き、心から感謝しています。これから、それぞれに違った道を歩むこととなりますが、人生の荒波を「乗り越える強さ」を培いつつ、たくましく成長して行って下さい。そして、みなさん一人ひとりにしかない、世界に一つだけの花を美しく咲かせて下さい。心から応援しています。



大切なもの

佐藤 陽子



私の九里学園での三年間は本当に楽しく充実したものでした。部活の仲間、ク

ラスの仲間に出会い、いろいろな思い、体験を共に共有し毎日笑顔が絶えることがなく仲間の大切さを知ることができました。また、オーストラリア研修は私にとって貴重な体験で、私をひとまわり大きく成長させてくれました。九里学園でしか学べない事、仲間、先生方のおかげで今の私があります。ここで学んだことをこれからの生活に生かして頑張っていきます。

充実した高校生活

井上 彩乃



私の高校生活は、信頼できる先生方と良い仲間に出会えたおかげでとても充実した三年間でした。部活動やクラスでの活動、さまざまな行事などを通していろんな経験ができ、たくさんの事を学びました。

あつという間の三年間でしたが毎日楽しく過ごすことができ、心から九里学園に入学して良かったと思っています。三年間支えてくださったみなさん、ありがとうございました。

5組

自分、そして感謝

担任 横山 明良



卒業おめでとう。かけがえない仲間との三年間は、一生の思い出。三年間での成長は、かけがえない財産。かけがえないものを失わないため、より多く得るため、学んだことを生かし、自分らしく、自分の足で、自分の選んだ道を一歩ずつ進んで下さい。疲れた時は、しっかりと休むこと。笑顔をお忘れすることなく、「全」を生きていって下さい。

担任として力不足はありましたが、みんなの笑顔と協力のおかげで一年間楽しめた。最初の卒業生がみんなで良かった。感謝!!

成長



高橋 郁奈



私は、九里学園に入ってから多くの事を学びました。部活は、辛い時もたくさんありましたが、仲間と助け合っている、切磋琢磨しながら最後まであきらめずにやりとげる大切さを身に付けました。

クラスでは、一つ一つの行事で団結を深め、協力し合うことができました。みんなで一つの物を作り上げる素晴らしさを学び、本当に良い思い出ができました。

卒業..

中川 和美



私は、この高校三年間、たくさんの経験と共に勉強や部活と一緒に頑張ってきました。その中で、仲間の大切さ、共に支え合うことの大事さなどを学ぶことができた。

そしてクラスの仲間と学園祭で一つの物を作り上げ、楽しい思い出ができて良かったです。そして、これから私は慣れ親しんだ土地を離れ、新しい土地へ行くので、九里学園で学んだこと、得たものを生かし、自分自身向上させ、成長していきたいです。



6組

「ありがとう」を伝えよう

担任 神尾 典子



卒業おめでとうございます。毎日お話しやお弁当を作ってくれたのは、学校へ送迎してくれたのは、いつも温かく見守ってくれたのは、どなたでしたか? 今日まで支えてくださったご家族のみなさんへ感謝の気持ちを忘れずに。こ

こちよ「あいさつ」ができ、「ありがとう」「ごめんなさい」と思うだけでなく、声に出して伝えることができれば、ゆたかな人生を送ることができるはずですよ。いつまでもみんなの幸せを祈っています。いままで本当にありがとうございました!

三年間をふり返って

五十嵐さとみ



九里に入學して、あつという間の三年間でつとふり返ると友達と過ごした楽しい日々がよみがえってきます。学年行事や九里祭などで辛いときも苦しいときもみんなを力合せて乗り越えてきました。その中で、学んだ事は、友達と協力する大切さや、人を思いやる気持ちの大切さです。

この思い出を九里でつくる事ができて本当に良かったです。みんなに出会えた事に感謝します。三年間ありがとうございました。

楽しかった三年間

佐藤 麻美



私にとってこの高校三年間は、本当にあつという間でした。その三年間という日々の間に、たくさんの思い出がありました。毎日の生活や行事、就職活動などはもちろんですが、部活動が何よりも印象に残っています。辛いこともありましたが、その分楽しい事や学んだ事もたくさんあり、大きく成長することができました。部活動以外でも高校生活を共にした友達や先生方に出会えたこと、そして九里で作った思い出は一生忘れません。九里で良かった☆三年間本当にありがとうございました。



- ㊦ ばにいるよ。
- ㊧ らいときもくるしいときも。
- ㊨ ねずに載るくらい最高のクラスで、
- ㊩ く笑いあう、
- ㊪ ちら3年6組。

7組

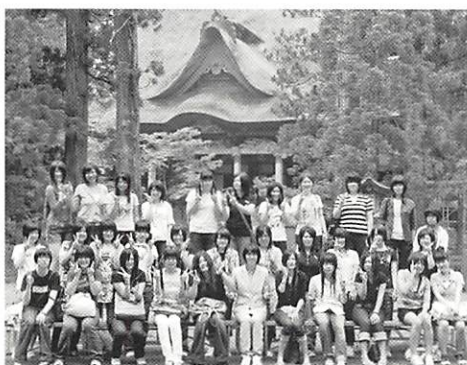
粒ぞろいの子供達

担任 高木ユキエ



七組のみんなは、ど
ちらかという小粒ぞ
ろい。納豆で言うところの極小に近いものである。でも、そんな極小の粒でもみんなの力を合わせると素晴らしいものが生まれることを、七組のみんなは教えてくれた。

体育祭では、委員長の絹ちゃん中心に踊りや替え歌を考え放課後遅くまで準備していった。当日も他のクラスが疲れて休んでいると「今がチャンス!!」と踊りまくった。その結果の「応援賞」獲得。担任は、今も、これからも七組のみんなを誇りに思っている。



九里での三年間

荒井 千春



九里で過ごした三年間はあっという間でしたが、たくさん思い出を作ることが出来ました。

体育祭や文化祭などの行事ではみんなと力を合わせ、一つの目標をやりとげる楽しさを知りました。また、百人一首のクラスマッチでは仲間がいることの安心感や大切さを学びました。九里で学んだことはとても多く、かけがえないものでした。それもこれも友達がいなかったらこそ。九里で良かった。今、心からそう思います。

九里学園での高校生活

我妻 真伊



私は九里学園の三年間で大切な思い出ができました。

部活は吹奏楽部に入学し、たくさんの仲間の中で協調性や集中力、返事などの大切さを学びました。

クラスのみんなとは、学校行事やクラス行事はもちろん、普段の学校生活でも楽しく過ごしてきました。これから私たちはそれぞれ違う道に進みますが、今まで自分に関わった人達に感謝し、頑張っていきたいと思っています。

8組

卒業にあたって

担任 井澤 治



三年間、クラス替えをすることもなく慣れ親しんだメンバードけに、今回の旅立ちには特別な思いがあります。担任として「まだまだ教えてあげたい」とがいつばいあったのに」と心残りに思う反面、新たな出会いが君たちをさらに成長させてくれるだろうと期待もしています。そしてプロコースで学び体験してきたことが、その成長の土台となっていくることを強く願っています。プロコース一二期生のグローバルな活躍を期待しています！

卒業にあたって



旅立ちの日を迎えて

齋藤 真輝



私が高校三年間を充実したものに作り上げる事ができたのは、九里で出会った仲間や先生方、そして今まで私を育ててくれた両親のおかげだと思っています。楽しい事も苦しい事も共に経験し互いに高め合ってきた仲間たち。いつもの確かなアドバイスを与え真剣に私の将来を考えてくださった先生方。いつも温かい目で見守り支えてくれた両親。私は多くの人の協力を得てここまで成長する事ができました。本当に心から感謝しています。

そしてこの春、私は九里を卒業し、自分の人生を築きあげるスタートを切ろうとしています。九里での三年間で学んだ事を生かし、輝かしい未来を創り上げる人間になりたいと思っています。



贈ることば

先輩へ 後輩へ

「時は金なり」



元生徒会長 小関 健太

私の高校生活は、とても充実した三年間だったと思います。勉強や部活動、生徒会の仕事や友達との時間。毎日やることがあり、一日たうやうやめて振り返ると、どれもこれも高校生活でしか味わうことのできない貴重な経験だったと思います。

朱熹しゆきという人の言葉に、「言うことなかれ、今日学ばずして来日あり」というものがあります。今日には、今日にしかできないことがたくさんあり、今日という日は二度と戻ってこないのです。だからこそ、一日一日を一分一秒を大切に過ごしてほしいなと思います。

人生でたったの三年間しかない高校生活を大いに楽しみ、充実したものにしてください。

これからが人生本番

二年三組 関本 和馬



三年間の学校生活お疲れ様でした。三年生の皆さんは、これから社会に出て行くと思いますが、そこからは人生の本番だと思います。

時には九里での出来事を思い出し、頑張りすぎずに、人生本番をスタートして行って下さい。

三年生へ

二年五組 渋谷知恵美



三年生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。特に部活の先輩方には大変お世話になり、仲間

との関わりの大切さ、一人では得られない最高の感動を私達に教えてくれました。九里でのいろんな経験を生かして、これからも頑張ってください。

希望

二年八組 樋口 徹也



三年生のみなさん、高校生活三年間、ご苦労様でした。先輩方は各行事などにおいても、輝いていました。先輩方のこれから進む道は一人一人ちがうと思いますが、それぞれの場所で輝いて下さい。私達は先輩方を見本に頑張ります。今までありがとうございました。

旅立つ先輩方へ

一年二組 齋藤 哲



先輩方、三年間の学園生活、御苦労さまでした。自分の目標を持って、過ごされたと思います。目標達成まで届かなかった先輩もいると思いますが、今度は、新たなスタートです。それぞれの場所でそれぞれの花を咲かす様、頑張ってください。ご健闘を祈ります。

夢に向って

一年四組 渡部 茜



もう少しで三年間の学園生活が終わりです。進路が決まりました。先輩も、まだ決まっていけない先輩も、九里学園に入学してから学び得た事をこれからの人生につなげ、夢を持って頑張ってください。

大きな存在

一年七組 安部 恭平



三年生という存在は一年生にとってはとても大きく、後輩達を無言で引っ張っていつてくれるような頼りになる先輩です。卒業したとしてもいつまでも後輩の心に残り、尊敬され目標になる存在であり続けるということを見せてほしいと思います。



明日に向かって!!

三年一組保護者 藤田真紀子

とうとう、夢と希望を胸に学び舎から巣立って行く時が来ましたね。しかし、今の社会は必ずしもバラ色ではありません。むしろこれから進む道には多くの困難が待ち受けている事でしょう。楽しい事、苦しい事、山あり谷ありの道を歩む事が人生です。その困難に伴う痛みをどう乗り越えるか…。その痛みを一つずつ乗り越えて行く事が成長につながるのです。どうか、困難を恐れなくてください。痛みを怖がらないでください。その険しい道の先にこそあなた達自身の明日があるのですから。自分たちの手で切り開いていける未来があるのですから。

夢に向かって進め!!

三年二組保護者 遠藤 和彦

本当に時が過ぎるのは早いもので親としても無我夢中の三年間で色々な方々にお世話になった事に感謝してこれからは世の中に返していこうと思つて生活してほしいものです。以前に聞いた事のある、心に響いた文章があります。

夢のある者は目標がある。
目標のある者は行動がある。
行動のある者は反省がある。
反省のある者は進歩がある。
進歩のある者は夢がある。

そして、九里学園野球部で培った精神力、協調性、仲間への思いやりなど、これから役に立つ事ばかりです。最後に一生懸命生きていければ、誰でもみんな応援してくれます。これからも肩肘を張らずに、夢に向かって進んでください。

巣立ち

三年三組保護者 黒澤 哲人

三人兄弟の中で一番大声で泣き生まれた悠。いつの間にか高校卒業か。幼稚園ではお祭り荒らしの太鼓小僧！小学校では山頂からの直滑降で無茶な暴走スキー。中学校では卓球部から陸上部への移籍で陸上人生？のスタート。高校生活！九里学園、九里陸上部との出会い。今まで大勢の人に支えられ、育てられ今日の自分がある事を忘れず、大学生活につなげて欲しい。また、九里陸上で学んだ事は競技面の技術的な事だけでは無いはず、監督、コーチから教わった哲学は今後の人生の中でお前の肥やしになり、力になる。辛く、苦しい時、それを思い出し何事にもぶつかって行け。友を大切にし、師を慕い、生きて欲しい。父、母の事は何処か心の隅に……！

卒業おめでとう!!

三年四組保護者 寒河江幸子

中学校で吹奏楽をしていた娘が「高校でも吹奏楽を続けたい。九里学園の吹奏楽に入りたい。」という憧れを抱いて九里学園に入学しました。『先輩方の伝統を受け継ぎ、自分達も東北大会のステージで演奏したい!』その目標に向かって、朝早くから夜遅くまで毎日部活に打ち込み、念願の東北大会に出場する事ができました。

「良い音楽は五感を通して体中に染み渡ります。親の私達も九里学園の素晴らしい音楽に出会え、聞く度にその感動を受け心に響きました。学習面や生活面全てにおいても、校長先生初め諸先生がたの温かいお言葉や、丁寧なご指導をたくさん頂き、人間的にも大きく成長する事ができ感謝の気持ちでいっぱいです。三年間ありがとうございました。」

緑はたちの時

はなはな

はなはな

はなはな

夢に向かって

三年四組保護者 大場久美子

卒業おめでとう。バスケ漬けの三年間は、本当にあつという間でした。悩み苦しみ、前に進めずいた時もありましたが、温かく見守り、アドバイス下さった先生方や、一緒に悩み、涙し励ましてくれた友だちのお陰で、困難をのり越え、大きく成長する事ができたと心から感謝しております。

社会に出れば、今まで以上に厳しい現実が待っています。人に流される事なく、夢に向かって前進して欲しいと願っております。

出会い大切に！

三年五組保護者 川崎 由浩

卒業生の皆さん、保護者の皆様卒業おめでとうございます。進学に就職に新たな出発の始まりです。娘とは同じスポーツをしていましたので、数回練習に参加させて頂き、良い経験をしました。また、部活を通して、顧問の先生、部員、保護者、先輩と沢山の人と出会い、多くの人に支えられている事も実感しました。今後、卒業生の皆さんは、社会に出て行くわけですが、より多くの人との出会いを大切にコミュニケーションを図り人間味ある大人になって下さい。期待しています。

自分の夢に向かって

三年六組保護者 宮嶋 繁子

ご卒業おめでとうございます。入学にあたって親と子供の意見が食い違い何回となく話し合いましたが、自分の夢の為、ぜひに九里に入りたいと言って入学してから早いもので三年が経ちました。その夢もまもなく叶う所まで来たようです。部活動にも力を入れて朝早くから夜遅く迄と家に帰って来るのは、いつも九時過ぎでした。

土・日曜も関係なく、よく三年間続いたと親としても感心しています。これ

からは、各自別々の道に進むわけですが決して安閑と過ごせるわけではなく今迄以上に大変な事がある事と思います。そんな時こそ九里で過ごした三年間を思い出して頑張ってください。最後に子供達を今日迄支えて下さった担任の先生を始め諸先生方、保護者の皆様に対して心から感謝申し上げます。

成長してきた姿へ

三年七組保護者 内海 順子

平成十七年四月、鮮やかなピンクの桜が咲いていた頃に入学式の日を迎えた事を思い出します。高校生活を若さというパワーで駆け抜けよう！初々しかったまなざしを覚えていきます。

入学してすぐに広がった友人の輪に心を躍らせ、学ぶ事に限界無しと思わせる授業を受け、協力の意味を本当に知った学校行事に取り組み、その中で、自分自身を見つけ知識を得た三年間だったと思います。就職活動では、三年間積み上げてきた自分という武器を使いこなし、社会人への第一歩を踏み出せる位置につきました。

ご卒業おめでとうございます。自分を見失わず「今から」を歩んでいってください。

一生の宝を胸に

三年八組保護者 青木美香子

「行く事により必ず得る物があるはず。」と、緊張からアトピーの悪化でハワイ研修を断念しようと親子で伺った時の井澤先生からの思いもかけない言葉。不安は残るが考えた末、「行ってみる」と。耳の調子も悪く、服装や薬など出来る限りの準備をし祈る思いで見送った。そしてハワイ大学での語学研修、歴史や自然とのふれあい、ホームステイ先での心温まる交流と息子は貴重な体験や感動と共に元気に帰国。校長先生が、「たとえ途中で断念するような事になっても絶対連れて行くように」と言って下さったと後でお聞きし、本当に感謝の気持ちで一杯でした。

先生方、クラスメイトに支えて頂いての三年間の宝を胸に、新たな世界へと踏み出してほしい。

支部活動に

寄せる思い

飯豊・小国支部長

飯沢 勇一

今年度、飯豊小国支部長を務めさせていただき、保護者の皆様のご協力のお陰で、活動計画を予定通り行えた事大変感謝しております。全ての支部活動、又は諸行事において一番大切なことは、親同士協力し合う事、協力し合える信頼関係を築いていく事、と私は考えます。子供達が学園生活の様々な面で力を発揮し、生き生きとした生活を送れる様、親としてサポートしてあげたいと思います。来年度もよりよい支部活動を期待致します。

活発だった支部活動

南原支部長

湖山 真

五月に役員会を行い六月に新田役員引き継ぎの懇親会を南原の曲屋にて開き、又その時に年間行事の内容もある程度決定しました。六月末に野球部グラウンドの草刈りを野球部保護者と共に、朝六時から八時までグラウンド周囲の草刈り及び不要の木々の枝の切除を実施。

一月十八日に南原コミュニティセンターにおいて教育懇談会を行い、九里廣志学校長の講話後、新年会を行いました。

二月七日、三年生を送る会をレストラン黄木にて、テーブルマナーを含めて親子行事として開催しました。

学校長教育講演会

南陽支部長

立津 雅弘

南陽支部では毎年、活動の一環として総会後に九里校長先生をお招きして「教育講演」をお願いしております。お話しの内容は、親子の在り方、子供達を取り巻く「社会の便利さと危うさ」、食育問題等、漠然と感じながらも整理出来ていない私達に自身の子供時代・青春時代のエピソードを交え分かり易くお話し頂き共感する点として又、大人として大変勉強になっております。これからも多くの保護者の方がご参加頂ければと思います。

講演会 私の戦争体験

「特攻隊を生き抜いて」

高島支部長

島津 正勝

高島支部では、八月に山形市在住の矢ノ目寛彰氏においていただき講演会を行いました。若千十五歳にて海軍飛行予科練習生として入隊をして日本のために命を捧げようとした当時の状況を生々しく語られました。矢ノ目さんは、幸運にも出撃待機中に終戦を迎えられ命拾いをしたわけですが、先に出撃をされた戦友の死を無駄にしない為にも、現在も仕事の傍ら県内各地で講演活動を行っているそうです。平和の尊さを若い人たちに、わかりやすく伝える事で少しでも社会のお役に立つのであればといった前向きな生き方にも、大変な感動をいただきました。終了後に懇親会にもご参加をいただき楽しく歓談させていただきました。

親子で育む

親子の集い

米沢第三支部長

山吉 広一

米沢第三支部では、親子で参加できる行事を毎年二回（十二月・二月）開催しています。今回は前年度に引き続き、十二月九日に東京第一ホテルで、テーブルマナーを開催しました。

参加人数は生徒十八名、保護者十二名の参加で、テーブルマナーをホテル側より教えていただき、始めは少し緊張ぎみだった生徒達も時間が経つにつれ楽しく食事をしていました。また、食後はビンゴゲームや生徒同志でプレゼント交換など行い、生徒と保護者の楽しい時間が過ごせたと思います。



盛り上がった

ボーリング大会

米沢第七支部長

西郡 恵子

第七支部での活動は、親子でコミュニケーションという事もあり、支部の先生方にも参加して頂き、三年連続で親子ボーリング大会を行いました。とは言っても親子でペアなんてなかなか組みませ

ん。親は組みたくても子供達は絶対に嫌だと言います。それでも参加した人達はみんな楽しそうで、子供達よりもむしろ大人達が大変盛り上がっていました。次の日はきつと筋肉痛だったでしょう。先生方も上手で、昨年も今年も優勝でした。食事会も楽しく過ごせ、日頃はなかなか出来ない親子の楽しいひとときでした。



支部だより24号

米沢第四支部

私たちの活動の中に他支部には見られないユニークな取組みが一つあります。それは毎年三月の卒業時期に発行する支部だよりです。年一回発行を積み重ねて今年度で二十四号になります。今年も昨年の十二月に役員が集まり、記事の内容を考え、作成に取りかかりました。卒業生に贈る校長先生の言葉にはじまり、今年度卒業する三年生の思い出や保護者からのメッセージ、さらには二年生の研修旅行の報告や米沢第四中学校から本校への来年度入学生の希望に満ちた決意など盛りだくさんです。是非お読み下さい。来年以降もずっと続く支部だよりづくりを紹介させていただきます。

(文責) 福崎 正史

平成十九年度 三学年褒賞受賞者

() 内の数字はクラス名

学習活動優秀賞

鈴木	志摩	窪村	高梨	佐藤	山崎	近野	永井	栗山	今成	畑橋	高橋	菅原	佐藤	伊藤	四釜	加藤	遠藤	鈴木	小関	小池
身有規	瞳	郁子	由依子	梨沙	恵利加	志帆	茉理	千那津	仁美	咲菜	昌子	有香	陽子	彩美	繁之	宏幸	広寿	和真	健太	匠
(8)	(8)	(8)	(7)	(7)	(6)	(6)	(5)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)
若月	鈴木	齋藤	渡辺	鈴木	内海	佐藤	和田	高橋	川崎	樋口	丹野	鈴木	島軒	井上	明石	小池	齋藤	高橋	尻高	興谷
ゆかり	彩香	真輝	保奈美	裕子	綾愛	千都	麻衣子	はる香	藍佳	乃佳	彩乃	茜陸	将也	拓平	祥平	翔太	裕介	裕介	裕介	裕介
(8)	(8)	(8)	(7)	(7)	(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)

特別教育活動〈功績賞〉

◆卓球部 李 午 龍 (1)

特別教育活動〈功労賞〉

◆陸上競技部 飯 沢 一 希 (1)

特別教育活動〈優秀賞〉

◆陸上競技部 男子 今 野 亮 (1)

◆陸上競技部 女子 太 田 美 香 (5)

◆卓球部 齋 藤 美 穂 (6)

◆卓球部 島 津 育 枝 (8)

◆卓球部 若 月 ゆ か (8)

◆卓球部 高 木 悦 子 (5)

◆卓球部 伊 藤 綾 音 (5)

◆卓球部 齋 藤 美 穂 (6)

吹奏楽部

井上	八卷	寒河江	戸田	關川	渡辺	渡辺	高梨
智也	由貴	奈央子	陽子	陽子	舞子	彩子	由依子
(1)	(1)	(4)	(5)	(5)	(6)	(7)	(7)
尻高	遠藤	淀奈	工藤	高橋	我妻	鈴木	高梨
翔太	直人	奈保子	瑠夏	千都	真伊	比美紀	比美紀
(1)	(2)	(4)	(5)	(5)	(7)	(7)	(7)

書道部

小 勝 見 章 弘 (1)

文芸部

小 池 匠 弘 (1)

図書委員会

伊 藤 大 二 (1)

新聞部

小 口 奈 津 美 (5)

生徒会

小関	高橋	菅原	中川	鈴木
健太	昌子	有香	和美	比美紀
(1)	(4)	(4)	(5)	(7)
齋藤	遠藤	小口	奥山	菊地
真輝	良貴	奈津美	美香	茂徳
(8)	(1)	(5)	(4)	(3)

平成十九年度 三学年褒賞

三年間皆勤賞

安達里美	高橋美	今成仁	丹野はる香	島軒愛佳	加藤宏幸	遠藤広寿	遠藤良貴
(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)
齋藤	長島	川崎	畑咲菜	鈴木木上	井上彩乃	佐藤史哉	勝見章弘
(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)
嶋貫舞	和田綾美	高橋郁奈	淀奈保子	平由佳	佐藤陽子	中村英照	黒澤純也
(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(2)	(1)

一年間皆勤賞

鈴木木保奈美	高橋美幸	齋藤美穂	關川陽子	青木優衣	鈴木菜摘	小杉美咲	森谷達也	本田成樹	藤田昂史	興谷裕介
(7)	(6)	(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)
高梨由依子	遠藤あゆみ	佐藤美穂	永井茉理	海藤倫子	高橋亜美	寒河江由貴	奥山美香	井上清隆	八巻智也	嶋貫紘斗
(7)	(7)	(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(4)	(3)	(1)	(1)
齋藤真輝	杉本恵理果	佐藤和愛	中川杏奈	加藤玲奈	高橋美紀	菅原美恩	草刈茂徳	菊地直人	遠藤峻平	鷹島峻平
(8)	(7)	(6)	(5)	(5)	(4)	(4)	(3)	(2)	(1)	(1)

●特別教育活動〈努力賞〉

齋藤拓也(2) 内海裕子(7)
大場美奈(4) 皆川政伸(1)

◆男子バスケットボール部
戸田紀子(6)・マネージャー

◆女子バスケットボール部

大場美奈(4) 平由佳(4)
鈴木愛(5) 小笠原詩織(5)
山口恵実(6)

◆バレーボール部

川崎麻衣子(5) 樋口綾(4)
井上彩乃(4) 菅原美紀(4)
高橋亜美(4) 青木優衣(5)
高橋郁奈(5) 中川和美(5)
長島由佳(5)

◆ソフトボール部

丹野はる香(4) 佐藤陽子(4)
草刈情恩(4) 海藤倫子(5)
伊藤加奈子(5)

◆陸上競技部 男子

梅津勝樹(3) 後藤義久(3)
◆陸上競技部 女子
高橋彩夏(5)

◆バドミントン部

本田成樹(2) 奥山美香(4)
鈴木藍(4)

◆弓道部

齋藤拓也(2) 湖山圭(1)

◆野球部

興谷裕介(1) 高橋祥平(1)
鈴木和真(1) 鷹嶋平(1)
遠藤広寿(2) 井上清隆(3)
四釜繁之(3) 高橋延光(3)
佐藤麻美(6) 宮嶋知美(6)

◆サッカー部

黒澤純也(1) 小関健太(1)
横山大輔(1) 菊地茂徳(3)

◆テニス部

鳴貫紘斗(1) 窪村郁子(8)

◆演劇部

土田里美(7) 中澤真尾(5)
橘仁美(7)

◆音楽部

松田みなみ(6) 井上裕理加(5)
山崎恵利加(6)

◆書道部

堀部さやか(7)

◆美術部

須藤加菜(7) 鈴木菜摘(4)
細谷珠美(6)

◆JRC部

鈴木未来(4)

◆生活科学部

伊藤彩美(4) 畑咲菜(4)

◆ジャズダンス部

菅原有香(4) 高橋昌子(4)
小口奈津美(5)

◆PC愛好会

荒井千春(7)

◆図書委員会

渡邊満雄(3) 安達里美(6)

●読書感想文優秀賞

高橋昌子(4) 永井茉理(5)
土屋恵(5) 鈴木保奈美(7)
鈴木身有規(8)



平成十九年度 進路状況について

進路指導課長 熊澤 広二

今年度の進路希望は、就職35%、進学が65%と昨年に比べて進学の割合が増加しています。

就職は、景気回復傾向と将来の労働力不足に備えて企業の求人意欲も高まり、求人数が増加しました。しかし、地元置賜地区の求人数は若干ながら減少しており、地元希望の生徒は厳しい状況です。県内職種別では、労働形態の多様化が進む中、生産工程、販売、事務が減少し、特に女子に厳しい状況でした。この厳しい環境の中、本校生徒は就職活動に励み、例年通りの成果を達成できました。このような結果は、生徒の真剣な取り組みと保護者の皆様のご支援の賜物と感謝しております。

大学・短大進学では、AO入試が普及し、推薦も指定校を含め希望者が多く、早期の進路決定を勝ち取る生徒が増えました。一方、今年度はプログレスコース一学期生のほとんどが、国公立を目指して大学入試セ

ンター試験に臨みました。

専修学校進学では、職業選択を踏まえた分野・学校選択が重要で、単に興味ある分野を勉強することだけでなく、その道のプロとして生きる決意を持った進学が必要です。その意味で、本校専修学校希望者は、担任や係との綿密な相談と学校見学会参加などで実際に自分の目で確かめ

て学校選択した生徒が多く感心しています。医療看護や教育福祉、衛生（特に調理）分野に希望者が増加しています。

就職・進学いずれの進路も、一二年次からしっかりと自分の将来を考えた、明確な目標を持って進路実現のための準備に入ることが大切です。

◆H19年度卒業生の進路別状況◆

平成20年2月21日現在

	就職希望者			進学希望者				家事 その他	合計
	県内	県外	小計	大学	短大	専修各種	小計		
男子	17	13	30	28	2	28	58	7	95
女子	27	29	56	21	19	39	79	14	149
合計	44	42	86	49	21	67	137	21	244

◆就職関係（内定状況）◆

	県内希望				県外希望				合計			
	学校斡旋 内定者	学校斡旋 内定者	縁故	縁故 内定者	学校斡旋 内定者	学校斡旋 内定者	縁故	縁故 内定者	学校斡旋 内定者	学校斡旋 内定者	縁故	縁故 内定者
男子	10	10	7	7	13	13	0	0	23	23	7	7
女子	24	24	3	3	29	29	0	0	53	53	3	3
合計	34	34	10	10	42	42	0	0	76	76	10	10
内定率%	100%				100%				100%			

◆進学関係（合格状況）◆

	大学		短大		専修各種		合計	
	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数	希望者数	合格者数
男子	28	23	2	1	28	27	58	51
女子	21	19	19	19	39	37	79	75
合計	49	42	21	20	67	64	137	126
合格率%	86%		95%		96%		92%	

編集後記

旅立つ・春・君たちへ

三年の学びを終え、卒業するひとりとひとりに心からおめでとう。光の中を歩いていると、その光があることが、明るいことが当たり前だと思ふ。

卒業して、それぞれの道を歩き始めた時に君たちは気付くであろう。君たちの卒業する九里学園は北の大地に燦然と輝く大きな星であることを。

どうぞ、その輝きを自分のプライドとして歩んで欲しい。

広報の仕事はさせていただいて最善の仕事は出来なかったかもしれない。しかし、この三年間が至福の時であった事は間違いない。出会えたすべての人に感謝しつつ心から、おめでとう。そして、ありがとう。



(森 泉)